



小さい個体。



路傍などで群生する。

**区別のポイント**

単羽状で、大きいものでは長さ 80 cm、幅 6 cmになる。

**形態** 常緑性のシダ植物。

**分布** 本州（伊豆半島以西）・四国南部・九州・沖縄

**名前の由来** 根に貯水の玉をつくることから。

**葉** **〈全体〉**葉身は線状披針形で鈍頭、単羽状の複葉。下方向けて幅は狭くなる。  
**〈葉柄〉**長さ 10 cmほど。単褐色の鱗片を付ける。葉の中軸にも鱗片が密生する。  
**〈羽片〉**側羽片は多いもので 100 対になることもある。無柄で鋭頭から円頭、基部は切形で上側が耳状に張り出す。長さ 3 cm、幅 7 mm、中部のものが大きい。

**備考**

**出典** 5, 1 2